

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 実用新案登録公報 (Y 2) (11) 実用新案登録番号

第2569767号

(45) 発行日 平成10年(1998) 4月28日

(24) 登録日 平成10年(1998) 1月30日

| (51) Int.Cl. ⁸ | 識別記号 | F I | |
|---------------------------|------|---------------|---|
| A 6 1 F 5/44 | | A 6 1 F 5/44 | H |
| 13/15 | | A 4 1 B 13/02 | K |

請求項の数 1 (全 4 頁)

| | | | |
|-----------|------------------|---|---|
| (21) 出願番号 | 実願平5-57692 | (73) 実用新案権者 | 000115108 ユニ・チャーム株式会社 愛媛県川之江市金生町下分182番地 |
| (22) 出願日 | 平成5年(1993)10月26日 | (72) 考案者 | 藤岡 義久 香川県三豊郡仁尾町大字仁尾辛29-1 |
| (65) 公開番号 | 実開平7-27524 | (72) 考案者 | 向井 敬智 愛媛県川之江市賽島町川東2173-2 |
| (43) 公開日 | 平成7年(1995)5月23日 | (74) 代理人 | 弁理士 白浜 吉治 |
| 審査請求日 | 平成8年(1996)6月19日 | 審査官 | 鈴木 寛治 |
| | | (58) 調査した分野(Int.Cl. ⁸ , DB名) | A61F 5/44 A61F 13/15 |

(54) 【考案の名称】 使い捨ておむつ

(57) 【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 透液性表面シートと不透液性裏面シートとの間に吸液性コアが介在し、前身頃と後身頃の長手方向中間に股下域を備えた使い捨ておむつにおいて、不織布製短冊片によって構成してあって、前記前身頃から股下域にかけて前記長手方向へ延在し、おむつの左右方向中心線に関して対称な一对のフラップを設け、その一側部を前記おむつの外側縁側において表面シートに接合し、その残りの他側部を前記外側縁側に向けて折り返し、前記一側部と他側部の端縁を重ね合わせて前記表面シートに接合し、前記他側部にその長手方向へ弾性部材を伸長下に貼着するとともに、前記一对のフラップの折曲縁間隔を所要寸法にしてあることを特徴とする前記おむつ。

【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この考案は、使い捨ておむつ、特に成人男子が使用するのに好適な使い捨ておむつに関する。

【0002】

【従来の技術】 使い捨ておむつの使用において、成人男子ではおむつに対する陰茎の位置が定まらず、成人女子に比べて横もれを生じることが多い。

【0003】 ところで、横もれを防ぐ従来技術には、例えば米国特許第4,704,116号公報がある。該公報が開示するおむつでは、おむつを左右に二分する中心線に関して対称な一对のフラップを表面シート上に設け、それらフラップの外側縁と端縁とを前記表面シートに接合する一方、内側縁は弾性部材を伸長下に貼着してなる伸縮性の自由縁とすることにより、おむつを着用す

るとそれらフラップが表面シート上に起立して、おむつの横方向へ流れる体液を塞ぎ止めることができるようにしてある。

【0004】

【考案が解決しようとする課題】前記公知技術において、左右一対のフラップの自由縁どうしの離間距離を適宜狭くすれば、陰茎を左右から軽く挟持してその動きを拘束することができ、陰茎をおむつの幅方向中央に保持することが可能になると考えられる。ところが、そのようにすると、肛門の近傍においてフラップの離間距離が小さすぎ、大便をうまく受容することができなくなるという問題を生じる。

【0005】また、フラップを肌触りのよい不織布でつくっても、自由縁は弾性部材の貼着によって剛性が高くなり、しかもギャザーを生じることによってギザギザとなるから、そのような自由縁によって陰茎を挟持することは、着用感の妨げになるという問題がある。

【0006】そこで、この考案は、前身頃から股下域にかけて延在する不織布製短冊片をおむつ内側から外側へ向けて折曲し、その折曲した部位によって陰茎を挟持することで前記従来技術の問題を解決することを課題にしている。

【0007】

【課題を解決するための手段】前記課題を解決するためにこの考案が手段とするところは、以下のとおりである。

【0008】この考案においては、透液性表面シートと不透液性裏面シートとの間に吸液性コアが介在し、前身頃と後身頃の長手方向中間に股下域を備えた使い捨ておむつが前提である。

【0009】かかる前提において、不織布製短冊片によって構成してあって、前身頃から股下域にかけて前記長手方向へ延在し、おむつの左右方向中心線に関して対称な一対のフラップを設け、その一側部をおむつの外側縁側において表面シートに接合し、その残りの他側部を前記外側縁側へ向けて折り返し、それら一側部と他側部の端縁を重ね合せて表面シートに接合し、その他側部にその長手方向へ弾性部材を伸長下に貼着するとともに、前記一対のフラップの折曲縁間隔を所要寸法にしてあることがこの考案の特徴である。

【0010】

【作用】かかる構成のおむつにおいては、左右一対のフラップの折曲縁間隔を所要の寸法とすることによって、それら折曲縁の部分で陰茎を左右から挟持し、その動きを拘束して、排尿をおむつの幅方向中央部に集中させることができる。おむつを着用状態にすると、弾性部材は収縮してフラップを表面シートから起立させ、そのフラップが表面シート上を横方向へ流れる尿を塞ぎ止める。弾性部材は、外側へ向けて折り返したフラップの側縁部分にあるから、陰茎に触れたり、これを圧迫したりする

ことがない。

【0011】

【実施例】この考案に係る使い捨ておむつの詳細を添付の図面を参照して説明すると、以下のとおりである。

【0012】図1は、使い捨ておむつ1の部分破断斜視図であって、前身頃2と、後身頃3と、これら身頃2、3間に介在する股下域4とからなるおむつ1が、その長手方向内側へやや湾曲した状態にある。おむつ1は、透液性表面シート5、不透液性裏面シート6、および表裏面シート5、6間に介在する吸液性コア7を有し、前身頃2から股下域4にかけての表面シート5上には、おむつ1の左右方向の中心線C-Cに関して対称な一対のフラップ8があり、後身頃3の左右側縁には、テープファスナー9の一端が剥離不能に接合してある。前後身頃2、3それぞれの端部には、胴周り弾性部材11、12が伸長下に貼着してあり、また、股下域4に設けた凹欠部には、脚周り弾性部材13が伸長下に貼着してある。フラップ8は、不織布製短冊片をおむつ1の外側へ向けて中心線C-Cと平行な折曲縁(縁)21に沿って二つに折り重ねたものであって、折り重ねることにより下側となった一方の側縁15が接合線15Aにおいて表面シート5に接合し、上側となった他方の側縁16が自由縁となり、その長手方向には、複数本の弾性部材20が伸長下に貼着してある。短冊片の端縁17、18は、折り重ねられた部分が互いに接合するとともに、それぞれ接合線17A、18Aにおいて表面シート5に接合している。

【0013】図2は、図1のX-X線端面図である。左右のフラップ8の折曲縁21どうしの間隔Dは、着用者の陰茎を受容可能な寸法にしてある。フラップ8の側縁15は、溶着線15Aを介して表面シート5に接合し、側縁16は、縁部を折曲することにより弾性部材20を被覆している。吸液性コア7は、左右の溶着線15Aの間が特に厚くしてあり、ここに集中的に排泄される尿の吸収速度と保持量とがその外側の部分よりも高くなるようにしてある。もっとも、ここには高吸水性ポリマーを多く配して、吸液性コア7を局部的に厚くすることなく、尿の吸収保持量を高めるようにすることもできる。

【0014】図3は、図1と異なる態様のおむつ1の斜視図である。おむつ1は、第1のフラップ8のそれぞれの外側に前身頃2と後身頃3との間に延在する比較的長い第2のフラップ25を有する。第2のフラップ25もまた不織布製短冊片であって、その外側縁26と端縁27、28とがそれぞれ接合線26A、27A、28Aにおいて表面シート5に接合し、自由縁である内側縁29には、その長手方向へ弾性部材30が伸長下に貼着してある。

【0015】このように構成したおむつ1は、これを内側へ湾曲させて着用すると、フラップ8にあっては弾性部材20が、また、フラップ25にあっては弾性部材3

0が収縮し、それぞれのフラップ8、25が表面シート5から起立し、表面シート5上を横方向へ流れる尿その他の体液を塞ぎ止め、横もれを防止することができる。なお、一对のフラップ8は、その折曲線21や側縁15、16を中心線C-Cに平行とする他に、適宜の角度をつけ、例えば股下域4から前身頃2方向へ向かって拡開するV字を描くようにすることもできる。

【0016】この考案において、フラップ8、25には、透液性、または不透液性、より好ましくは通気不透液性であって、肌触りのよい不織布を使用する。また、表面シート5には不織布や開孔プラスチックフィルム、裏面シート6にはプラスチックフィルム、吸液性コア7には粉砕バルブや粉砕バルブと高吸水性ポリマーの混合物を使用することができる。また、フラップ8、25を表面シート5に接合するには、ホットメルト接着剤を含む接着剤や粘着剤の他に、シート素材が熱溶融性のものであれば、溶着の技術を利用することができる。

【0017】

【考案の効果】この考案に係るおむつにおいては、左右のフラップの間に着用者の陰茎を受容し、該フラップの

折曲線によってその陰茎を軽く保持するようにしたから、その位置がおむつ中央に定まり、横もれを防止することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】使い捨ておむつの部分破断斜視図。

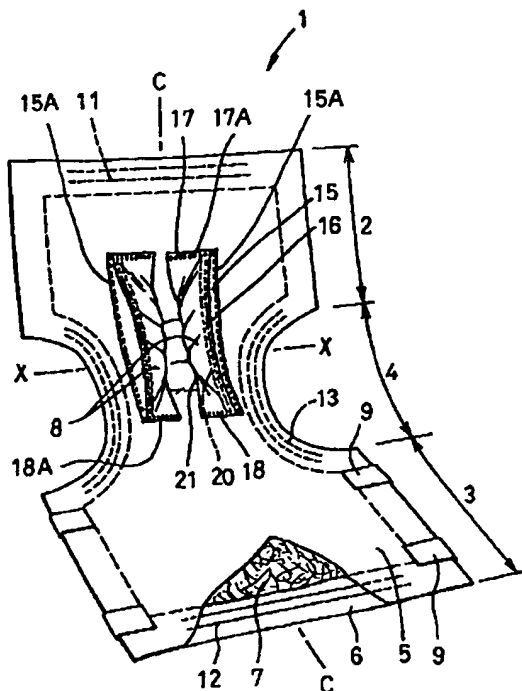
【図2】図1のX-X線端面図。

【図3】図1と異なる態様の使い捨ておむつの斜視図。

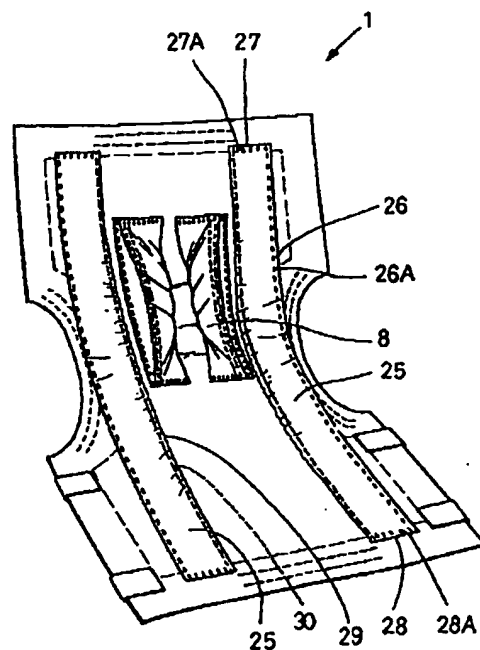
【符号の説明】

- 1 おむつ
- 2 前身頃
- 3 後身頃
- 4 股下域
- 5 表面シート
- 6 裏面シート
- 7 吸液性コア
- 8 フラップ
- 15, 16 側縁
- 17, 18 端縁
- 20 弾性部材
- 21 折曲線

【図1】

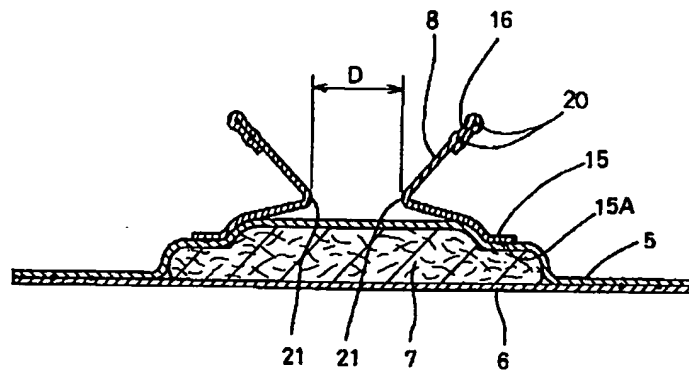


【図3】



BEST AVAILABLE COPY

【図2】



BEST AVAILABLE COPY